



9.11をきっかけに元弁護士が10年の歳月をかけて考案 ブルックリン生まれの新感覚スケートボード 「Freerider Skatecycle」

『インターナショナルスタイル2014（2014年2月18日～20日開催）』に出展

～ソチオリンピックの開催を記念して読者プレゼントとしてご提供します～

Freerider Skatecycle Japan（所在地：東京都千代田区）は、2014年2月18日から20日までの3日間、パシフィコ横浜で開催されるボードカルチャー＆ファッショントピックの展示会「インターナショナルスタイル2014」に、ブルックリン生まれの新感覚スケートボード「Freerider Skatecycle」を出展いたします。

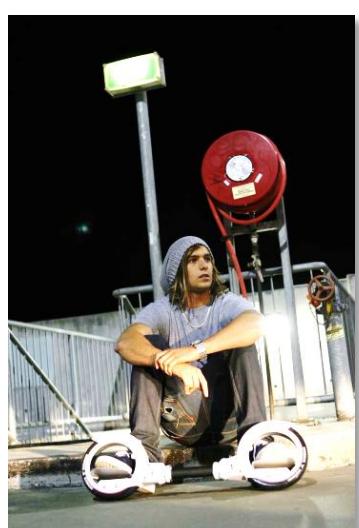
インターナショナルスタイル2014：<http://www.interstyle.jp/>



「Freerider Skatecycle」
(フリーライダー・スケートサイクル)
価格：18,858円+税
カラー：ホワイト、ブラック
サイズ(長さ)：760mm
サイズ(ホイール)：229mm
重量：3.3kg

「フリーライダー・スケートサイクル」は、ニューヨーク・ブルックリンで生まれた新感覚スケートボードです。2つのタイヤを繋ぎ、そのタイヤの中にあるボードに足を載せて走る、新しいタイプのスポーツギアです。

Youtube：<http://www.youtube.com/watch?v=TDNufcfCndU>



■元弁護士が考案した新感覚スケートボード

13年前の9月11日、当時弁護士であったアロン・カーブマンは、仕事のためアメリカン航空11便に乗る予定でした。予定が急遽変更となり、その飛行機への搭乗はキャンセルに。しかしその後、離陸したアメリカン航空11便は、ワールドトレードセンターに直撃し、ビルは崩壊しました。

アロンは9.11の事件をきっかけに自分の人生を見つめなおし、本当にやりたいことをやらなければならないと決心し、弁護士の仕事を辞め、高校の頃から構想していたオリジナルのスケートボード「フリーライダー・スケートサイクル」の製作に取りかかります。構造やデザインなどに少しづつ改良を加え、実に10年の歳月を費やし、ついに商品化を実現しました。

■フリーライダー・スケートサイクルの仕組み

ペアリングで回転する2つの車輪を1つのアームで繋ぎ、両足でクネクネと蛇のようにS字に動かすことで推進力が生まれ、助走をつけなくても自走することができます。平地でも自ら加速しながら乗ることができます。スケートボードのように地面を蹴って動力を得る必要がなく、静止状態からも自力で進むことができるのが特徴です。



オーリーや180も自由自在



ブラック

ホワイト



様々なスポーツシーンを応援するFreerider Skatecycle Japanでは、
ソチオリンピック開催を記念してスケートサイクルを「読者プレゼント」としてご提供いたします。
商品貸出や専属ライダーなどの取材協力なども可能です。
詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください

【商品についてのお問合せ先】

Freerider Skatecycle Japan
TEL:03-5298-2650
<http://freeriderskatecycle.jp>

【報道関係者からのお問合せ先】

Freerider Skatecycle Japan (株)E-LABO内
担当:野村・鍵本
TEL:03-5298-2650 FAX:03-3256-1012
E-Mail: skatecycle@p-ground.com
東京都千代田区神田淡路町2-3-12